



やまがた 議会だより

平成31年1月

No.127

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 三澤一男）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



(12月8日 上竹田子ども会育成会 しめ飾り体験会 ミラ・フード館)

いのしし年が 実り多き 穏やかであるように祈り 恒例のしめ飾りづくり

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ■第4回議会定例会 ……………2 | ■村の将来に思う……………6 |
| ■主な議案・請願・陳情・報告 ……………2 | ■常任委員会の行政視察報告 ……………7 |
| ■一般質問の要旨 ……………3~6 | ■休日議会を傍聴して……………8 |

平成30年

第4回議会定例会

風食予報システムの導入

第4回定例会を12月7日に開会し、14日まで8日間開催した。

議案8件を審議のうえ可決した。

常任委員会に付託された、請願・陳情が提出され、請願1件、陳情1件を採択のうえ、国・県の関係へ意見書を提出した。

一般質問は11人が登壇し、9日に村政全般について質問を行なった。

議案

〈人事院勧告に準ずる改正等〉

- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 山形村特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定について
- 平成30年度山形村一般会計補正予算
- 平成30年度山形村介護保険特別会計補正予算
- 平成30年度山形村水道事業会計補正予算
- 平成30年度山形村下水道事業会計補正予算

報告

○工事の発注状況について

- ・清水寺展望台解体工事 千6百14万円
- ・道路舗装補修工事（小坂） 6百83万円
- ・道路維持工事 2件 2百41万円
- ・河川維持工事（下大池） 百18万円
- ・神明配水池上部維持改良工事 2百80万円

- ・山形村B&G海洋センター
上屋膜体取換工事 9百29万円



〈展望台〉



〈清水寺展望台を解体〉

主な事業等補正予算

総務費

- 補助金 路線バス 百42万9千円
- 負担金 鉢盛中学校防災備蓄倉庫建設 76万千円

民生費

- 障がい児者タイムケア事業扶助 9万5千円
- 自立支援事業扶助費 千50万円

農林水産業費

- 気象情報システム改修工事 百40万4千円
- りんご黒星病拡散防止対策事業 55万8千円

教育費（学校管理費）

- 小学校漏水調査委託料 32万4千円
- 小学校空調設置工事設計監理業務委託料 千3百34万9千円
- 学校空調（エアコン）設置工事 1億千百24万円

（請願・陳情）

- 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書を採択
- 「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書を採択



〈議会定例会 議場にて〉

そこが聞きたい

一般質問

12月議会定例会 一般質問11名

『環境整備の日』での活動をもう一步進めた対応に



百瀬昇一議員

村長 地域の共助活動としての位置づけを高めるよう啓蒙・啓発していく

Q 山形村環境審議会とはどのような内容か、山形村環境基本計画、山形村地域新エネルギービジョンの現状は。

A 平成15年施行の山形村環境基本条例に基づき、10人の審議員により平成27年度は第三次山形村環境基本計画策定、平成28年度は山形村一般廃棄物処理基本計画策定、平成29年度以降は各基本計画の進捗状況について審議している。

山形村環境基本計画は山形村環境基本条例に基づき策定し、目標の進捗値により評価・検討を行なっている。

山形村地域新エネルギービジョンは国の補助金を活用して策定し、意識や実態調査を行わない村の現状を把握している。

行政区画図の更新について

Q 古い区画図の更新はどのようにやっていくか。

A 区画線の確認作業を進め、今年度内に各区に示していく。

山形村の景観を守る条例について



春日仁議員

村長 村独自の条例は、今は考えていないが、景観の保全には努める

Q 美しい、この村の景観を後世に残していくためには、景観条例の制定が必要だが、どう思うか。

A 今のところ、山形村としての景観条例の制定は考えていないが、自然や社会的、経済的、文化的条件に配慮しながら、景観の保全には努めていく。

命を守るネットワークの構築を



大月民夫議員

村長 「自殺対策計画」は年度内に策定

Q これまで「個人の問題」とされてきた自殺が「社会の問題」と認識されるようになり、自殺対策基本法の改定により、市町村単位での「自殺対策計画」の策定が義務付けられた。山形村での計画策定は何時になるか。

A 平成30年度内の策定を予定している。

Q 策定プロジェクトの構成メンバーは。

A 副村長が委員長となり、町内の横断的な体制を整えるために、税金業務、社会

インフルエンザ予防接種について

Q 毎年この時期になると、インフルエンザの予防接種によって、子どものいる家庭では、家計が圧迫されている。

子どもの接種代については、特に13歳未満の助成をして貰いたい。また、予防接種の有効性をどう思うか。

A 予防接種代は決して安いものではないと思う。家庭によっては予防接種のできない場合もあると推測する。

予防接種の有効性は高いと思われる中、子育て世代の経済的な負担軽減のために、他の子育て支援策とのバランスを考慮し、今後の課題としたい。

保障業務等に関わる職員を各課より1名選出し、事務局を含め14名で委員会を構成している。

Q 県との連携はどのように推進予定か。

A 県精神保健福祉センター主催の「自殺防止地域関係者研修会」に担当者が参加。その他必要に応じて、関係機関より助言をもらう。

Q 計画の構想は。

A 誰もが自殺に追い込まれることの無い社会の実現を目指して、この計画の策定を機に、更に積極的に自殺対策について庁内外と連携を密にして対応していく。

その他、公共施設管理の方向性について質問した。

災害に對しての備えは充分か

新居 禎三 議員



新居 禎三 議員

村長 地域コミュニティを強化して共助力をお願いしたい

Q 災害に對して住民への意識啓発をどのように進めているか。

A 地震総合訓練を実施し、住民の訓練参加を通じて防災意識の啓発を行なっている。

Q 情報伝達や安否確認を特に連絡班未加入者に對してどのように行なうのか。

A 地域でサポートしていただける人たちの組織づくりが必要なので研究していく。

障がい者・高齢者の福祉対応状況は



小出 敏裕 議員

村長 実施計画の中で、予算措置等の課題はあるが、順次取り組みを進めていきたい

Q 64歳以下の障がい者はどの位いるか。

A 障がい者計画で示している中では、身体障がい者手帳所持者は116人となっている。

内訳は1級27人、2級21人、3級23人、4級25人、5級16人、6級4人となる。

養育手帳所持者は75人（重度25人、中度18人、軽度32人）、精神障がい者福祉手帳所持者は68人（1級26人、2級32人、3級10人）となっている。

Q 避難所の運営は地域の協力を仰がなければならぬがどのように行なうか。

A マニュアルを早急に作りスムーズな運営にむすびつけたい。

Q 指定避難所のWi-Fi（ワイファイ）（無線で接続）の整備はどのようになっているのか。

A 早急に整備を考えている。

Q 通路の安全点検を目視で行なっているが、機器による点検を所有者に對して補助金等で促すことはできないか。

A 今のところは考えていないが、今後必要なら考えていかなければならない。

Q 高齢者介護サービスと障がい者福祉サービスはどのように考えているのか。

A 介護保健制度の改正の趣旨に基づいて、別だてには考えていない。

Q 障がい者のバリアフリー化の進捗状況はどうなっているか。

A 本年度は公共施設ごとの調査書を作成し、検証を進めた。各施設のトイレ等についてのバリアフリー化を検証し、実施計画に反映されているので、順次確認していく。

Q 住民参加型の在宅サービスの活動状況はどうなっているか。

A 村としては把握していない。

A その他、村の人口問題への取り組みについて質問した。

税金・料金などの延滞処分状況は

大池 俊子 議員



大池 俊子 議員

村長 再三の催告に応じない場合は、差し押さえとなる

Q 山形村でも税金や各種料金などの徴収や延滞などに、日々対策・対応をしている。

A そんな中、安倍政権の基で急速に対応が強権的にかわってきた。

そこで、今の延滞金の対応・処分の状況はどうなっているか。

A 再三の納付催告に反応が悪い方、納付能力があるにも関わらず、納付に応じない方を対象に差し押さえを実施している。主な延滞処分は、給与・年金・預貯金・不動産・車両等の差し押さえとなる。同様な処分を長野県地方税延滞整理機構が実施する場合もある。

Q 納税相談を行なう中、問題が深刻化する前に手を打ち、生活を立て直す『ようこそ納税頂きました』条例を作っているかどうか。

A 今、村でも同様な対応をしている。異変に気付いた場合は、何に困っているのかを聞き取り、生活支援に繋げながら生活改善が図られ、納税にむすびついた例がある。

今後、このようなケースが増えていくと考えられており、関係部署と連携して対応する。

A その他、環境問題について質問した。

ふるさと納税の 対応について



上條倫司 議員

村長 村の活性化を考えて、ふるさと納税の使い方、返礼品を考えていきたい

Q 山形村は平成20年から始まったふるさと納税だが、11月現在の実績だと159件で金額は85万6千円となっているが、村民から行なったものは160件、千349万9千878円となり、村の全体的な収支的にいうとマイナスとなるが、どのように思うか。

A この内容については驚いているが、当初は、税というより寄付の概念で行なってきた。山形村出身者に向けてのふるさと応援寄付での主旨で行なってきた。

Q 今年の活動報告において、本格的対応をしていきたい旨の説明があったが、現在の対応は。

A 今年になり、総務省から一定の基準が示された。そんな中で、山形村の魅力の発信をし、返礼品を充実させて、対応を進めたい。

Q ふるさと納税者への対応は、返礼品の送付時に何らかの対応を考えているか。

A 返礼品は15種類設定しているが、送付時には、村の情報、PRは考えているが、地場産等の購入申込書は入れられないことになっている。

なお、返礼品の選定は村の活性化に繋がるような物を検討、研究していきたい。

ICTを活用した 行政サービスの向上及び 業務の効率化と職員の 負担の軽減について



百瀬 章 議員

村長 『情報伝達技術』と翻訳されるもので、今後は、村でできることから活用を進めたい。

Q 総務省のICT地域活性化ポータルによる、ICT地域活性化事例100選の中にあるが、塩尻市が導入した鳥獣被害対策への活用についてどう考えるか。当村でも課題の一つとなっている。

A 塩尻市が、鳥獣被害対策に情報伝達技術を導入して解決していることは見習うところもあるが、当村に取り入れることは、専門的技術者がいないことや情報環境の整備も含め難しい。

ふるさと伝承館の 建設に向けて



福澤倫治 議員

村長 ふるさと伝承館は早急に取り壊す必要があると思っている

Q 議会に報告のあった、縄文時代の土器5点に県宝指定があった中、ふるさと伝承館はいつ倒壊してもおかしくない、小学生が通学などで使用している場所にある。村の歴史を後世に伝え、残すことが今を生

きる我々の責務と考える。
ふるさと伝承館の建設の考えを聞きたい。

Q ICTは教育、介護・医療・健康、防災、農林水産業、観光、官民共同サービス、働き方、IoT（物のインターネット）基盤など多岐にわたる分野に活用が可能だが、今後どの分野から対応を検討するか。

A 広範囲な計画は考えていないが、平成28年度から実施しているマイナンバードを利用した、住民票のコンビニ交付の継続や電子申請で受付可能な手続きを増やしていく。

関連付けて、ICT導入に関する助成金の研究や、職員の教育及び研修について質問した。

将来、人口が減少すると、税収も減少する。したがって、職員も減らさざるを得ない。しかし、公共サービスの質を落とさないよう、ICTの活用に取り組むよう質問した。

A ふるさと伝承館の後継施設は民間資金や民間のノウハウを活用するもの（PFI・PPP）も、可能性、維持経費など研究する必要がある。

Q 県営競争力強化基盤整備事業のその後の協議経過について。

A 三間沢川の土砂の堆積は、今後も引き続き松本建設事務所へ除去を依頼していく。重度障がい児の入浴サービスその後の経過について。

A 社会福祉協議会とほぼ協議が整ったので、事業開始に向けて最終調整を行なっている。

水道管の耐用年数・

地震対応高密度

ポリエチレン管の使用は



竹野入恒夫 議員

村長 地震対応で布設している

Q 水道管の耐用年数は、地方公営企業法施行規則により法定耐用年数40年と定められている。

- 1 山形村の水道管路が40年を経過している場所はどの位あるのか。
- 2 水道管の更新は、どの位できているか。
- 3 水道管の更新時には、地震対応の高密度ポリエチレン管を使用しているか。
- 4 水道管の更新には、国からの補助金が交付されるのか。

山林の松枯れ

対策を早急に



小林幸司 議員

村長 山形村所有のドローンを活用しての調査も検討したい

Q 松枯れの状況はどうなっているか、対策はどの様に行なっているか。
A 今年は20本の松枯れが確認された。この内18本の伐採が完了し、残り2本も伐採予定である。

Q 個人についての助成制度はあるか。

A 農薬散布、樹幹注入剤購入費に5割助成、ただし、上限10万円となっている。

A

本年度で40年経過するものを含めると、約1.1kmある。水道管の更新は、水道管拡張工事や下水道事業に関連した布設工事、漏水等があった時に修繕工事で更新してきた。

本年度は、上竹田の下本郷から新和にかけての更新工事に使われた。

平成31年度以降の更新工事は、現在策定を進めている。公共資産を効率よく維持管理する方式「アセット・マネージメント」により更新計画を立てる。

今後の布設替え工事は、更新計画に基づいて順次実施していく。

財源は第5次拡張工事の際と同様に起債が主になる。

その他、風疹について質問した。

村内の知的障がい者グループホームの実態は

Q グループホームの数と状況はどうなっているか。

A 現在2か所の障がい者グループホームがあり、それぞれ7名が入所している。

年齢層は20歳から80歳までとなっている。

Q 今後の入所希望者の把握はしているか。

A アンケートなどを利用して、調査を進める。

Q 村内に新たなグループホームの開設予定はあるか。

A 村の施設は考えていないが、松本広域として検討していきたい。

今後の山形村に思うこと

平成最後の師走が過ぎようとしています。世相を表す漢字一文字は『災』となり、本年も京都清水寺において森清範貫主による揮毫が行なわれました。

北海道地震、西日本の豪雨災害の象徴である災害、事故、事件の多い年でしたが、村に於いては大きな災害もなく、無事成年が過ぎようとしています。

村議会議員時は、4年間村民・組織の皆様にご指導を戴いたことに感謝を申し上げます。また、自立の村づくりを選択した先輩諸氏の知識と見識、ご努力の姿勢には敬意と感謝を致します。

当村は県下35村の中では面積が一番狭い村ですが、幾多の偉人や資産、資源があります。少子高齢化が進んでいますが、平坦で広大な優良農地、緑豊かな里山、共に取り組む村民の姿はワンフロアである。あらゆる見地から取り組んでも発展性を秘めている村です。

議会と理事者二元代表制の機能を最大限發揮して、オンリー・ツウの村づくりではなく、オンリー・ワンの村づくりをめざし、議会力を生かし、一日も早く議会基本条例を制定し、村民の負託に応えて明るい飛躍する村を構築してください。

(中大池)

平沢恒雄



総務産業

震災の被災状況と

震災からの復興の取り組みについて

12月25日午前 白馬村庁舎

『白馬の軌跡』 人口の少ない昔からの集落が中心であった所での災害であった。また、主要道路が使える、災害状況の報告・把握・協力体制ができた。

こういう中で、日頃の近所・地域のコミュニティが大事なことで、インフラ関係などの大事さを実感・確認した。

12月25日午後 新潟県小千谷市そなえ館

中越大震災の被災状況と震災からの復興の

福祉文教

家庭ごみ・リサイクル

一般廃棄物の焼却灰のリサイクル施設と子ども食堂・子供の居場所づくり

11月12日午前

ツネイシカムテックス埼玉工場

この工場は、山形村の一般廃棄物の焼却灰の再資源化は10年となる。

平成29年度の山形村の実績は、前年度繰越分含め188トンの焼却灰が資源化となる。

「サンクスBB」最終処分場の長寿命化策となっている。

業務内容は、焼却灰・煤塵などを



11月12日
ツネイシカムテックス埼玉工場

リサイクル処理し、人口砂「アークサンド」を製造している。人口砂の用途は、地面に敷き詰めて雑草抑制・敷石ブロック加工（吸水性に優れている）・ガス管理設など。

山形村でも「アークサンド」を何か利用できればと、考えてみたら如何かと思う。



11月13日 「こうさてん」

また、高齢者も含めた福祉広場的な要素が強かった。

山形村でも核家族が増えていて、今後「子ども食堂」など、子どもの居場所づくりを考えていく時期がきたと思う。

常任委員会 行政視察報告

取り組み（平成16年10月23日17時56分発生）

震災直後の初動配備体制にはじまる。

自主防災会の

確立（組織指導、防災研修会、組織の賠償責任保険への加入指導・負担など）

避難行動要支援者支援システムの整備

【そなえ館】の見学、体験

の



12月25日 小千谷市「そなえ館」

12月26日午前 新潟県長岡市川口

川口きずな館は中越メモリアル回廊の「新たな歩み」、8つある施設の一つです。

12月26日午後 栄村庁舎

長野県北部地震により被災

地震・被災・避難状況、震災からの復興状況、中越大震災の教訓の中で防災マニュアル作りが役に立った。

地域コミュニティの形成は【自主・自立・共同・共助】であると実感した。加えて、【公助】創りです。



12月26日 栄村庁舎

11月12日午後 熊谷なないろ食堂（熊谷市）

11月13日午前 すくすく広場（加須市）

11月13日午後 ワーカーズコレクティブこ

うさてん（鴻巣市）

子どもが、家族揃って食えることができません。一人で食べる「孤食」の解消のために、活動をしている3つの施設です。

「子ども食堂」だけでなく、学習支援、遊びの場として、子どもの居場所を提供していた。

また、高齢者も含めた福祉広場的な要素が強かった。

山形村でも核家族が増えていて、今後「子ども食堂」など、子どもの居場所づくりを

考えていく時期がきたと思う。

休日議会開催

12月9日(日)

第四回議会定例会 一般質問

傍聴席から一言

もう一步踏み込んだ

論戦が必要だ

各議員それぞれの努力は伝わってきたが、限られた時間のためか、複数の質問項目があるためか、深みのある論議に発展せず残念だった。

それにしても、女性議員が少ない。男性に無い知性と感性が山形村議会に求められています。

男性 70歳代
2回目の休日議会を傍聴しました。環境、医療、福祉など多岐に涉り11名の議員が問題を調査・分析・研究され質疑に臨む姿が拝見できました。しかし、望むならばもう一步踏み込んだ「論戦」が拝聴できたらと感じました。

12月9日(日)午後 議会議場傍聴席



下竹田 百瀬 健一

事前に配布された質問一覧表を見て、興味ある項目があったので、午前中のみ傍聴しました。が期待外れでした。
事前準備にどれだけ真剣に取り組んだのか疑問です。

女性 匿名

初めての議会見学、自分ながら緊張して、村の大事な事柄、議員さんたちの意見を拝聴させていただきました。

私は風疹の予防接種について関心がありましたが、それぞれの議員の方が身近な問題をとらえていると思いました。

全体の感想は、難しい用語が多くあり、聞き取り難かった。

議会日誌

《10月》

1日 長野県町村議会議長政務調査部会

5日 議会広報編集特別委員会

朝日村・山形村議員研修会

15日 議会全員協議会、議会運営委員会

16日 福祉文教常任委員会

25～26日 総務産業常任委員会行政視察

《11月》

9日 区三役・議会議員研修会

12～13日 福祉文教常任委員会行政視察

19日 総務産業常任委員会

21～22日 全国町村議長会全国大会

30日 議会運営委員会

《12月》

5日 山形村三団体懇談会

7日 山形村議会定例会本会議

9日 議会全員協議会

山形村議会定例会

一般質問

11日 総務産業常任委員会

12日 福祉文教常任委員会

14日 山形村議会定例会本会議

21日 議会全員協議会
議会広報編集特別委員会

旬の味

『災』今年の世相を表す漢字です。7月 西日本豪雨災害は平成最多の犠牲者219人となり、大変な水害となった。

8月 日本列島を幾度となく襲った台風、さらに台風21号が大阪を直撃し、屋根が吹き飛び、大型車も倒した。その後北海道に上陸し、大量の雨を降らせた。

9月 北海道胆振東部地震が発生、多くの人命が奪われ、大規模停電が続いた。

山形村も猛暑、干ばつに襲われた。教育施設のエアコンが必要となり、予算計上された。全国的には農産物も打撃となり、災い続きの年でした。来年は良い年であることを願う。

上條 倫司

編集後記

休日議会の傍聴者は15名と残念な結果となりました。昨年の半分以下です。このことを真摯に受け止めて、村民の期待に応えられる議会になるよう、頑張っていきたいと思っております。ご支援をお願いいたします。

小出 敏裕